

授業科目名 (英文表記)	農工商連携・六次産業化 (Agricultural Diversification and Collaboration of Industries)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月14日(土) 13:00~17:00	第3回 11月25日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月28日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

この授業では、農業生産者と他産業とが結び着くことで高付加価値化を目指す六次産業化などの事例を分析することを通じて、地域農林水産業の存続のありようについて検討することを目指します。また、風土産業などの古典論を解説しながら、地域に適した農林水産業および関連産業のあり方についても考察します。

【授業計画】

第1回① 六次産業化と農工商連携1

六次産業化、農工商連携の基本的な概念について解説します。

第1回② 六次産業化と農工商連携2・3

荒木・林編を輪読し、農林水産業と六次産業化についてどのように把握するかを考えます。

第2回① 古典としての風土産業1

三澤の風土産業について、基本的な考え方とその時代背景を考えます。

第2回② 古典としての風土産業2・3

三澤文献を輪読し、風土産業の具体的な内容、理論的支柱を考察します。

第3回 六次産業化・農工商連携と風土産業

ここまでの授業内容をふまえ、六次産業化や農工商連携の進め方と風土産業の関わりについて議論します。

まとめ、レポート指示

【到達目標】

履修することで、次のことができることが目標です。

1. 六次産業化、農工商連携など、近年の農林水産業を巡る諸概念について説明できる。
2. 六次産業化、農工商連携の具体的な事例を解説できる。
3. 地域に適した六次産業化および農工商連携について説明できる。

【成績評価の方法】

授業への参加度合い(50%)とレポート(50%)により評価します。

【教科書】

下記を予定しています。また、適宜資料を配付します。

荒木一視・林紀代美編 2019.『食と農のフィールドワーク入門』昭和堂.

三澤勝衛 2008.『三澤勝衛著作集 風土の発見と創造 第3巻 風土産業』農山漁村文化協会.

【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介します。

【履修上の注意・メッセージ】

積極的な参加を期待します。

【履修をする上で必要な事項】

南紀熊野サテライトで受講される方は対面で、それ以外の地域から参加される方は同時配信で授業を行います。受信するためにネットワーク環境(Wi-fi環境)をご準備ください。また、パソコンとTeams、そして念のためにZoomクライアントをご準備ください。さらに質疑応答する場合には、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。

【授業時間外学修についての指示】

配布した文献資料等の精読を求めます。旧仮名遣い、文語調の文章もありますので、相応の時間がかかるものと考えてください。